

平成30年度膵臓病研究奨励賞の受賞者は、下記の16名の研究者に決まりました。

記

- 鍋島立秀(東北大学大学院 医学系研究科 消化器病態学分野)
研究課題:Keap1-Nrf2経路は炎症性膵発癌に寄与するか?
- 廣瀬勝也(東北大学大学院医学系研究科病理形態学分野)
研究課題:CRISPR-Cas9systemを用いた膵臓癌KRAS遺伝子編集治療
- 岩本千佳(九州大学大学院 医学研究院)
研究課題:キャンサーパネルシーケンス解析による膵癌微小環境と膵癌細胞clonalityの選択機序の解明
- 鎌田 研(近畿大学医学部附属病院消化器内科)
研究課題:Aryl hydrocarbon受容体経路の活性化が自己免疫性膵炎の発症に及ぼす効果の解明
- 横山勢也(鹿児島大学大学院医歯学域医学系腫瘍学講座病理学分野)
研究課題:計算機予測モデルを用いた膵癌予後・悪性度予測法の構築
- 横堀武彦(群馬大学大学院医学系研究科 先端腫瘍免疫治療学講座)
研究課題:新規治療ツールを用いた微小管関連タンパクSTMN1標的治療戦略による膵臓癌制御と治療抵抗性克服を目指した基礎的研究
- 小川数馬(金沢大学 新学術創成研究機構)
研究課題:膵癌の包括的診断・治療を目指したラジオセラノスティクス用プローブ開発
- 奥田諒(横浜市立大学大学院医学研究科臓器再生医学)
研究課題:抗癌剤治療後に残存するヒト膵癌幹細胞の維持機構の解明
- 石本崇胤(熊本大学病院 消化器外科学)
研究課題:代謝リモデリングによる膵癌進展メカニズムの解明
- 小林 智(神奈川県立がんセンター 消化器内科)
研究課題:76歳以上の切除非適応膵癌患者に対する非手術療法の前向き観察研究
- 佐々木紀彦(東京都健康長寿医療センター研究所)
研究課題:膵癌幹細胞の糖鎖を標的とした新規診断・治療法の開発
- 吉田道弘(名古屋市立大学大学院医学研究科消化器代謝内科学・地域医療学)
研究課題:膵疾患における内視鏡下採取検体を用いたエクソソーム内miRNA解析:新規バイオマーカーの解明と胆膵内視鏡下検体を用いた新たな診断体系の樹立を目指して
- 喜多絵美里(千葉県がんセンター消化器内科)
研究課題:膵管内粘液産生腫瘍における3次元培養および遺伝子解析によるバイオマーカー探索に関する研究
- 小川久貴(堺市立総合医療センター外科 大阪大学消化器外科)
研究課題:膵臓癌間質内制御性T細胞に対する抗体療法併用温熱CART細胞療法の開発
- 津田喬之(京都大学医学研究科 消化器内科学)
研究課題:BRG1が膵癌の維持、進行にはたす役割の解明
- 永田尚義(国立国際医療研究センター消化器内科)
研究課題:口腔内・腸内マイクロバイームとメタボロームの網羅的解析による新たな膵癌バイオマーカーの探索